

和歌山県観光情報

紀州浪漫

2022 秋号 Vol.82
AUTUMN

秋は和歌山で
レトロモダン
探しの旅

紀州三昧

ジオサイトや祭りなど、和歌山のおきをご紹介。

【紀州の祭り】



紀州のお殿様が称賛した踊りも披露
10月4日(火)、5日(水)

御坊祭〈御坊市〉

小竹(しの)八幡神社の祭礼で、御坊・日高地方で最大の秋祭りといわれる「御坊祭」。隈(くま)取り顔の子どもが乗った四つ太鼓が町内を練り歩く。また、踊りや舞が奉納され、県指定無形民俗文化財第1号・国選民族芸能の戯瓢踊(げほんおどり)が見もの。紀州初代藩主の徳川頼宣公も称賛したとの記録が残っている。

本年の開催および内容については下記まで電話を。

☎御坊市商工振興課 ☎0738-23-5531

【南紀熊野ジオパーク】



海蝕でぽっかりと開いた円い穴
夕陽と重なる絶景に胸を打つ秋

円月島〈白浜町〉

太平洋に面した白浜には絶景スポットが多く点在し、町のシンボルとして親しまれている円月島もその一つ。臨海浦に浮かぶ南北約130メートル、東西約35メートル、高さ約25メートルの小島で、正式名称は「高嶋」という。中央部には波の浸食によってできた丸い月のような穴がぽっかり。「日本の夕陽百選」に選ばれた夕景地でもあり、秋分の時期には夕陽が穴に重なる神秘的な情景に出会い、心を奪われる。

☎南紀熊野ジオパークセンター ☎0735-67-7100
☎南紀熊野ジオパークガイドの会事務局 ☎0735-67-7730
☎南紀白浜観光協会 ☎0739-43-3201

【ほんまもん体験】



高野山麓の地で考案された伝統工芸
メイドイン和歌山の「再織」に挑戦

手織り(再織)体験〈橋本市〉

明治初期に橋本市高野口町で考案された「再織」。手織り機を使った作品づくりに挑戦し、独特の風合いや手触りの良さを体感してみたい。体験料金は2000円および材料費(500~1000円)。月・水・金曜に行われ、所要時間は約2時間30分。対象人数は2人まで、年齢は10歳から。1カ月前までに予約を。

同体験が行われる「パイル織物資料館」では、数々のパイル製品や手織り機などが展示され、見学可能。

☎パイル織物資料館 ☎0736-42-3113 ※平日9:00~17:00

【プレミア和歌山】



木の温かみを感じる曲げわっぱに
好物をいっぱい詰めて秋の行楽へ

紀州わっぱ御膳 桧〈上富田町〉

和歌山県で産出される紀州ヒノキを使用した、昔懐かしい曲げわっぱのお弁当箱。木工職人が一つ一つ丁寧に作り上げ、耐久性が高く、使うほどに色合いが深まるのが特徴。お箸と湿気取りに使える紀州備長炭付き。

☎西嶋木工 ☎0739-47-2687



「プレミア和歌山」は、安心・安全を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならでは」の視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度です。



目次 contents

秋 2022 AUTUMN 号 vol.82

表紙の写真
高野山大学図書館(高野町)
昭和4年に建てられた図書館。
アーチ型の天井が広がる
閲覧室には大きな窓が設けられ、
柔らかな自然光が室内を照らす。

- 2 紀州三昧
- 1 (特集) 秋は和歌山でレトロモダン探しの旅
- 3 山上の聖地・高野山 時を旅する建築探訪 <高野町・九度山町>
- 4 熊野レトロモダンとりっぷ <大正・昭和モダンの建築> <新宮市>
- 6 熊野レトロモダンとりっぷ <昭和レトロの温泉街> <那智勝浦町>
- 8 レトロモダンなグルメスポット6選 <県内各地>
- 10 「わかやま歴史物語」ぶらり旅 日本農業遺産にも認定された 紀州みかんの里を巡る旅 <有田市・海南市>
- 14 トピックス 和歌山県イラストマップ フォトジェニックなわかやま 丹生酒殿神社 <かつらぎ町>
- 15
- 16

※本誌に掲載の情報は令和4年7月1日現在のものです。施設・店舗等の営業時間・定休日・料金等が変更される場合があります。また、祭り・イベント等は中止・延期の場合があります。利用の際はあらかじめ店舗や主催者等に直接お問い合わせください。

西村記念館

秋は和歌山で レトロモダン 探しの旅

【建築ガイド】 中西重裕さん(建築士)



和歌山県建築士会副会長、一級建築士事務所 K&Nアーキテクツ代表。和歌山の歴史的建築物に精通しており、「わかやまワクワク探検隊」(和歌山新報社)、「和歌山県庁本館 歴史と文化のラビリンス」(和歌山県建築士会・共著)など、著書多数。まち歩きイベントなども開催している。

■特集で紹介している建築には中西さんのコメントを吹き出しで掲載しています。

芸術の秋、文化の秋。心地よい気候の中でレトロモダンな近代建築を探访する旅へ。山上の聖地・高野山では歴史と信仰が息づくクラシカルな建築を巡る。また、世界遺産の地・熊野では絵画のような大正モダンの建築に触れることができる。新宮市や昭和レトロの「エモッ」が各所に残る那智勝浦町を訪ねる。

今回、案内してくれたのは、和歌山の建築に詳しい和歌山県建築士会副会長の中西重裕さん。中西さんは、「広い和歌山には、明治以降のすばらしい近代建築が各所に残されており、地域ごとに個性があるのが魅力です」と語る。どこか懐かしくもあり新しくもあるレトロモダンな建築や風景。そこに漂う歴史や文化、そして人々の思いを体験しながら、のんびりと時間旅行を楽しもう。



珠数屋四郎兵衛

300年以上の歴史を持つ珠数や仏具の専門店。2階は飲食スペースになっており、昭和8年に完成したというレトロモダンな応接間は、今も食事に訪れる人の休憩室に利用されている。

〒伊都郡高野町高野山771
☎0736-56-2121

☎9:00~18:00(飲食はランチのみ)
※時短営業の場合あり
休無休
※団体飲食の予約は10人から、応接間の個人の見学については要問い合わせ



天井にある漆喰の八芒星の装飾や、床の木の組み方、ドア部分のガラスの装飾など、モダンでユニークなデザインが満載。



高野山大学図書館

開館当時「東洋一の図書館」と称された大学図書館。設計したのは、京都帝国大学建築学教室教授であり、「関西近代建築の父」と呼ばれる武田五一博士。学生だけでなく一般にも開放されている。

〒伊都郡高野町高野山385
☎0736-56-3835

☎<https://www.koyasan-u.ac.jp/library/>
※利用時間、休館情報についてはホームページを参照

かつて入り口として使われた玄関部分の石を積み上げたような装飾は左官の技法。部屋の奥まで自然光が入る、縦長の窓が特徴です。華やかな装飾はありませんが、落ち着いた趣きのある建築です。



平野清椒庵

古くから、高野山に農作物を奉納していたという有田川町清水地域。その縁にちなみオープンした、和歌山県の名産・山椒の専門店。最高峰のぶどう山椒を、おしゃれな「薬味缶」(5g880円)などの商品として販売。

〒伊都郡高野町高野山733
☎0736-56-2777 ☎9:00~17:00
和山椒トッピングソフトクリーム300円
※3~11月の期間限定



弘法大師空海によって開かれた天空の宗教都市、高野山。1200年以上、厚い信仰が息づく聖地だが、建築の観点から訪ねてみると、また違った表情が見えてくる。

高野山の歴史は、火災との戦いの歴史でもある。信仰の中心である壇上伽藍にある根本大塔や金堂は、昭和初期に再建された鉄骨鉄筋コンクリート造りのもの。落雷などにより幾度とない焼失を繰り返しながらも、厚い信仰心により再建された壇上伽藍の建築物は、真言密教の象徴として空海の教えを脈々と未来へつないでいる。

また、高野山大学図書館、珠数屋四郎兵衛の応接室、橋本警察署高野幹部交番など、近代につくられた建築物

山上の聖地・高野山 時を旅する建築探訪

【高野町・九度山町】

も必見。いずれも、今なお現役で利用されているというのが魅力だ。モダンな建築に触れ、タイムスリップしたような非日常を体感しよう。

根本大塔

これまでに何度も落雷による焼失を繰り返してきた根本大塔。明治以降の再建計画では木造を含め検討していたが、金堂の火災を受けて昭和12年に鉄骨鉄筋コンクリート構造でよみがえった。

金堂

根本大塔と同様、鉄骨鉄筋コンクリート構造で昭和7年に再建。上部が切妻になっており、四方にひさし屋根がついた入母屋造り。高野山の総本堂として多くの儀式がとり行われている。

金剛峯寺

高野山真言宗の総本山。檜皮葺(ひわだぶき)の屋根には、火災の多い高野山の歴史を表すように、天水桶という雨水を蓄えておく大桶が設置されている。

〒伊都郡高野町高野山132 ☎0736-56-2011
☑8:30~17:00(最終受付16:30)
☎拝観料大人(中学生以上)1,000円、小人(小学生)300円、未就学児無料
☎<https://www.koyasan.or.jp/>

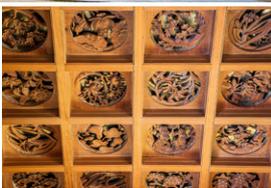
書院上段の間

かつて真人が登山した際の応接間として使われた場所。明るく見せるために壁に金箔が貼られている。また、折上式格天井(おりあげしきごうてんじょう)とよばれる天井は必見。



壇上伽藍

奥之院と並ぶ信仰の中心地。弘法大師が高野山を開創したとき、最初に着手したといわれている。「胎蔵曼荼羅」の世界が表現されており、そびえたつ朱塗りの根本大塔は真言密教の象徴。



高野山霊宝館

仏像や仏画などの文化遺産を多数収蔵する同館。火に強い木造漆喰塗りの建築で、紫雲殿の天井の漆喰の装飾は見事。自然光を入れすぎないよう、窓には銅板縦型ルーバーが施されている。

〒伊都郡高野町高野山306 ☎0736-56-2029
☑5月~10月8:30~17:30、11月~4月8:30~17:00
(入館は各閉館時間の30分前まで) ㈸年末年始のみ
☎拝観料一般1,300円、高校生・大学生800円(要学生証提示)、小学生・中学生600円



木造2階建ての近代和風建築の交番で、地域性の高い建物です。設計したのは、和歌山城の再建にも関わった建築技師・松田茂樹さん。高野山にふさわしいデザインが魅力です。

トロモダンな 駅舎にも注目



高野山駅

高野山開創1200年の折に、昭和5年に建てられた当時の駅舎を復元。温かみのある色の外観や、丸窓、欄干に注目。2階の待合室からは、見晴らしのよい景色を眺めることができる。



九度山駅・おむすびスタンド

地元産の米をかまどの火でふっくらと炊き上げたお米で作る、おむすび専門店。旬の食材を使って作られるおむすびは、どれもぜいたくなおいしさ。旧車両を改装した、味わい深いイートインスペースでも味わえる。

〒伊都郡九度山町九度山123-2
南海電鉄九度山駅構内 ☎0736-20-7553
☑9:00~16:00(売り切れ次第終了)
(㈸月曜(祝日の場合は翌火曜)
☎くどセットB(好きなおむすび3個、みそ汁、漬け物付き)930円(イートイン)

極楽橋駅

俗世と聖域の境界とされる極楽橋近くにある、高野山への玄関口。緑の中に行む駅舎の外観は懐かしさを感じさせ、駅構内に足を踏み入ると、高野山の動植物が描かれた天井絵巻や宝来天井絵など圧巻の景色が広がる。

熊野レトロモダンとりっぷ く大正・昭和モダンの建築く 【新宮市】

生活を芸術として捉えた大正・昭和期を代表する建築家・西村伊作。伊作が生まれ育った新宮市には、今もなおレトロモダンな建築物が残されており、全国から建築ファンが訪れる。旧西村家住宅は当時の住宅としては珍しく、家族団らんを大切にするために居間を中心とした設計がされている。さらに伊作自らデザインした家具も配置され、温かな住まいによく調和している。

近隣に建つ旧チャップマン邸は米国人宣教師の住まいで、伊作の思想が反映された洋風建築。また、熊野速玉大社の境内には、西村伊作の弟・大石七分が設計した旧佐藤春夫邸がある。サンルームやバルコニーなど明るくモダンな意匠が特徴。伊作の思いや、当時の人々の豊かな生活を想像しながら、ロマンあふれる新宮の町歩きを楽しんで。



東京都文京区にあった佐藤春夫の邸宅を移築したものの。外観上の特徴は八角塔で、陽の光がよく取り入れられた、和洋折衷の落ち着いた住まいです。



旧羽根学園熊野高等経理学校
丹鶴ダンス教室と同じ並びにある、昭和10年に経理学校として建てられた洋館。正面玄関の欄間部分に意匠として「四つ玉式ソノバン」がはめこまれている。
〒新宮市丹鶴2丁目5-24
※建物内は見学不可



丹鶴ダンス教室(旧新宮郵便局)
元は明治38年に大橋通りに建てられた郵便局を移築。ダンス教室として利用されてきた。鮮やかなコバルトグリーンの外壁が印象的。
〒新宮市丹鶴2丁目5-54
※建物内は見学不可



新宮城跡
熊野川河口の南岸、丹鶴山に築かれた総石垣造の平山城。紀州藩付家老水野氏の居城跡で、本丸からは熊野川や太平洋を一望できる。
〒新宮市丹鶴3丁目7688-2

佐藤春夫記念館(旧佐藤春夫邸)
大正から昭和にかけて活躍した作家・佐藤春夫の旧邸宅が記念館として公開されている。新宮市出身の佐藤春夫は伊作の友人でもあった。
〒新宮市新宮1(熊野速玉大社境内) ☎0735-21-1755
☎9:00~17:00 (休月曜、祝日の翌日、年末年始(12月28日~1月3日))
観入館料大人330円、子ども160円



きもの体験処 熊代屋
大正ロマンあふれる女生生や書生の衣装を身につけて、新宮の町を散策。手ぶらで訪ねて着付けをまかせられるので楽々。衣装レンタルは1週間前までに要予約。
〒新宮市井の沢5-16 ☎0735-21-1179
☎13:00~17:00 (休無休)
料大正レトロプラン120分3,500円~

©あらたまデザイン

旧西村家は居間を南に配置した現代風の造り。陽の光を十分に取り入れられる出窓、シンプルなデザインのベンチシートがポイントです。地下にボイラー室があり、大正時代には珍しく優れた給排水設備が備わっていました。



旧西村家住宅(西村伊作記念館)
 大正3年に建てられた、地下室と屋根裏部屋を擁する2階建ての洋風住宅。与謝野晶子ら文化人が集うサロンでもあった。
 所新宮市丹鶴1丁目2-14 ☎0735-22-6570
 観覧9:00~17:00
 休月曜(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始(12月29日~1月3日)
 観入館料大人220円、小中学生110円

こちらも旧西村家と同様、居間中心型の住宅。南東の部屋がリビングで、南に半八角形の出窓があります。周りの景観に溶け込むような、落ち着いたある行まいが魅力です。



旧チャップマン邸
 米国人宣教師チャップマンと家族のために西村伊作が設計した住宅。当時の写真がパネルで展示されている。現在、ワーケーション施設としても利用可能。
 所新宮市丹鶴1丁目3-2 ☎0735-23-2311
 観覧9:00~17:00、貸館9:00~21:00
 休月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)
 観覧料無料



熊野速玉大社 [世界遺産]



イル・ド・フランス
 気軽に本格フレンチが楽しめるピストロ。おすすめは、世界遺産・神倉神社を表現したという「熊野ハンバーグセット」。ハンバーグは神社を支える岩盤、マッシュポテトはゴトビキ岩を現しており、見た目にも鮮やか。
 所新宮市丹鶴3丁目1-18
 ☎0735-22-2365
 11:30~14:00、17:30~21:00
 休月曜 熊野ハンバーグセット1,650円



神倉神社 [世界遺産]



Megane
 熊野速玉大社近くにあるパン屋さん。アレンジが楽しめる、カンパニーやバゲットなどのシンプルな食事パンを中心に、こだわりの自家製パンがずらり。人気のサンドイッチ、焼き菓子に加え、ワインもそろる。
 所新宮市上本町2丁目2-9 ☎0735-30-4872
 11:00~18:00 休月~水
 自家製フムスと野菜のサンド550円
 ※木曜はチャバタ生地の商品のみ販売





紀伊勝浦駅前ターミナル
勝浦温泉のお土産の定番・黒あめ「那智黒」の看板が出迎える。スパンコールがキラキラと輝く風景は、紀伊勝浦駅前のシンボルになっている。



いざかた通り
紀伊勝浦駅前から続くアーケード商店街。昭和の頃から変わらない店構えの土産店や地元住民に利用される店舗が建ち並び、

純喫茶に、レコード、銭湯。覚えのある人には懐かしく若者には新しい。昭和の面影が「エモい」とブームの今、那智勝浦町には、そんな昭和レトロに出会えるスポットがたくさんある。紀伊勝浦駅を出ると現れる、「黒あめ那智黒」の看板。風が吹くとスパンコールがキラキラと輝き、存在感抜群。アーケードを入った商店街には、昭和の頃に栄えた風景が

熊野レトロモダンとりっぷ 昭和レトロの温泉街 【那智勝浦町】

今も色褪せず残っている。

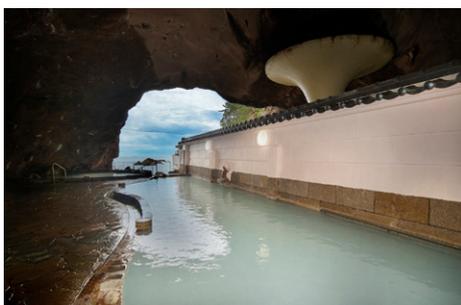
愛らしいカメの送迎船で向かうのは、昭和31年創業のホテル浦島。本館と山上館を結ぶ長いエスカレーターは高低差日本一といわれ、まるで遊園地のアトラクションのよう。さらに、地元に愛される公衆浴場はまゆもおすすめ。ユニークで懐かしい温泉街の魅力にどっぷり浸ろう。



スペースウォーカー
全長154メートル、傾斜角度が30度ある、高低差日本一のエスカレーター。途中、熊野灘の眺めを満喫できる。所要時間5分45秒。

ホテル浦島
太平洋の大パノラマが自慢の温泉旅館。天然洞窟風呂・忘帰洞は、「帰るのを忘れさせるほど」の心地良さ。源泉の異なる温泉巡りができ、客室も多彩でぜひたたくひとときが過ごせる。

〒東牟婁郡那智勝浦町勝浦1165-2
☎0735-52-1011
☒9:00~19:00(受付18:00まで) 休不定休
☒日帰り入浴大人1,500円、小人750円(小学生まで)、3歳以下無料



浦島丸
竜宮城を思わせるホテル浦島への送迎船。カメのシルエットがインパクト大で、わくわく感を与えてくれる。ホテル浦島では浦島丸を模したぬいぐるみも販売。
※送迎船は連休の場合あり

秋は和歌山で
レトロモダン
探しの旅

はまゆ

昔懐かしい「町のお風呂屋さん」でありながら、源泉かけ流しの天然温泉という本格派。浴槽が一般のものに比べて深くなっているのも時代を感じさせる。町の人に混じって、旅の疲れをゆったり癒やそう。

〒東牟婁郡那智勝浦町勝浦970
☎0735-52-1201
☒15:00~21:00 休火・日曜
料大人400円、小人(小学生まで)150円、
幼児50円



那智勝浦港郵便局

ピン玉通りにある現役の郵便局。採光のために縦にとられた窓と、御影石の基壇、レンガ調タイルが特徴の洋館。歯状になったひさしの装飾など、繊細な意匠が見所の建築だ。

〒東牟婁郡那智勝浦町勝浦442-1



アマアイ

昭和レトロな商店街に佇む、モダンでおしゃれなカフェ。「栗と木の美のレアチーズ」は、クリームチーズにマロンクリーム、練乳、栗の実を練り込んだ、秋を感じさせるスイーツメニュー。ドリンクとのセットで200円引きに。

〒東牟婁郡那智勝浦町築地5-2-10

☎0735-52-0181
☒11:30~17:00(OS16:30)、
19:00~22:00(OS21:30)

※土曜のディナーは23:00(OS22:30)まで
休水曜、第1木曜、火・日曜のディナー
料栗と木の美のレアチーズ650円、
アイスカフェラテ500円



少し足を
延ばして

熊野古道大門坂

老杉に囲まれた苔むした石畳の道。聖地「那智山」への参道で、熊野古道の中でもかつての面影を色濃く残しているといわれている。



©NACKT

大門坂茶屋

大門坂の入口から100mほど入った夫婦杉の手前にある観光施設。売店や平安衣装の貸し出しもあり。世界遺産の大門坂の石段を背景に記念撮影をしてみよう。

〒東牟婁郡那智勝浦町大字那智山392-4

平安衣装貸し出し申込 ☎0735-52-5311 (那智勝浦町観光案内所)
☒9:00~16:00(最終受付15:00) 休無休
団体料1時間まで2,000円、1~2時間3,000円、2~3時間4,500円、以降20分あたり+500円

御菓子処 那智ねげ堂

黒飴を手作りするお菓子どころのご当地ソフト。上品で優しい甘さの「伝統の黒飴焦がし蜜」が使われ、追い黒蜜も無料でサービスしてくれる。くずもちやプリン、鈴かすてら、ラスクなどのトッピング(有料)も多彩。

〒東牟婁郡那智勝浦町市野々3434-1

☎0735-55-0031

☒9:00~17:00

休不定休

料元祖黒飴ソフトクリーム350円~



ピン玉通り

かつてマグロ漁で使われたガラス製の浮き球「ピン玉」を配置した脇仲地区の通り。昭和レトロな漁師町の趣を感じられる。



十割そば 森本屋

ピン玉通りに面し、まぐろ漁船の船長が住んでいた古民家を再利用した店構え。看板の十割そばは香り高く、赤身や中落ち、すき身を使ったまぐろ丼はそばの返しを使ったタレでうま味が増す。美食のコラボをご堪能あれ。



〒東牟婁郡那智勝浦町勝浦451

☎0735-52-4578

☒11:00~14:00(OS13:45)

休火曜

料ミニセット(まぐろ丼とそば)1,400円



グルメ

地元の常連さんでにぎわう、創業48年の老舗洋食店。日替わりでメインが変わる「グルメリランチ」は人気の高いメニューで、秘伝のデミグラスソースはライスとの相性もぴったり。日曜と祝日は提供していないのでご注意ください。



〒東牟婁郡那智勝浦町築地2-1-4

☎0735-52-1820

☒11:00~14:00、17:00~20:00

※早めの閉店あり

休火曜、月曜の夜 ※月・火曜連休の場合あり

料グルメリランチ900円



レトロ感が漂うクリスタルタクシー勝浦営業所の建物

那智の滝
那智山青岸渡寺
熊野那智大社
大門坂茶屋
熊野古道大門坂
那智ねげ堂



那智の滝[世界遺産]



熊野那智大社[世界遺産]



グルメスポット 6選



趣のある建築物をちらほら見掛ける、情緒あふれる和歌山の町並み。そんな土地柄から、由緒ある日本家屋や近代洋風建築をリノベーションしたレストランやカフェが各地に点在し、住民からも観光客からも関心を集めている。年月を重ねたからこそ醸し出す和みの空間で、地域の歴史を体感したり、ご当地の「ごちそう」に舌鼓を打ったり。「初めてきた場所なのに懐かしい」。時代を超えて愛される古き良きスポットをご紹介します。



和歌山市
純喫茶リエール
JYUNKISSA RIE-RU
旧岡崎邸別荘

陸奥宗光をいここに持つ政治家・岡崎邦輔の別荘を改装。美しい装飾が印象的な欄間(らんま)、ハイカラな調度品やシャンデリアなど、和洋折衷の内装が潇洒(しょうしゃ)の一言。日本庭園を眺めながら、優雅なティータイムを。



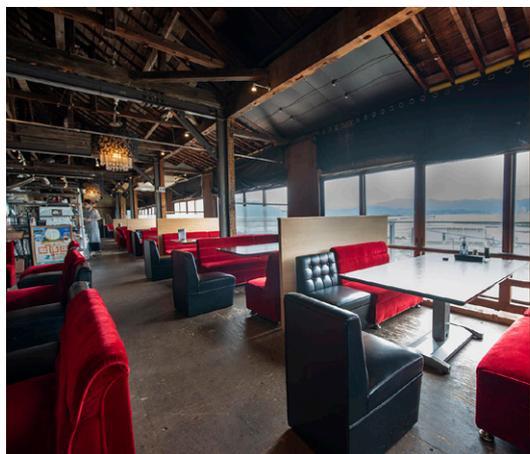
和歌山市和歌浦中3-5-5
☎073-499-8698
☑10:00~16:00(OS15:30)
休火曜
☎黄沢宇治抹茶のワッフル1,200円



海南市
べっちゃんさん
BECCHINSAN
旧岩橋新三郎邸

郷土発展に尽力した元黒江町長、岩橋新三郎の邸宅であり、漆器店としても使われた築100年以上の日本家屋で、和歌山のソウルフード「早なれ寿司」を提供。1948年から守り続けている伝統の味を歴史あるお屋敷でご賞味あれ。

和歌山市黒江659
☎073-488-3369
☑10:00~17:00(OS16:30)
休火水曜
☎おそばセット
早なれ寿司1個1,155円



和歌山市
わかうら食堂
WAKAURASYOKUDO
旧料亭旅館石泉閣

築90年の料亭旅館の客室の壁を取り払い、ワンフロアにリノベーション。柱や梁(はり)が見える、天井高を生かした広々とした食堂に変身させた。和歌の浦の絶景を眼下に、蔵出し食器に盛られた新鮮な海の幸を堪能して。

和歌山市新和歌浦4-16
☎073-498-8311
☑11:00~15:00(OS14:00)
※土日祝は17:00~22:00
(OS21:00)も営業
休無休
☎鯛しゃぶご膳3,000円





御坊市
 旧中川家住宅（登録有形文化財）
 そば&Cafe なかがわ
 NAKAGAWA

山林業を営んだ中川家の居宅として、1938年から1970年代半ばまで使われた。一部が2階建ての木造平家で、入母屋屋根を重層させ、風格を感じさせる佇まいが特徴だ。敷地内にはそばどころを併設し、香り高い自家製そばを食べられる。



所 御坊市御坊105
 ☎0738-52-7285
 ☑11:00~14:00
 ※住宅の見学は11:00~16:00(入場無料)
 休 水曜
 料 天もりそば950円



田辺市
 旧田辺市警察署
 ララ・ロカレ
 KARAKOKARE

1949年に田辺市警察署として建築。その後、図書館や公民館に姿を変えながらも、モダン建築の趣を残し、2012年にカフェとして再生。当時の机や時計が現役で残る店内で、国産小麦粉のパンや季節替わりのパスタをぜひ。



所 田辺市上屋敷2-6-7
 ☎0739-34-2146
 ☑9:00~17:00
 (ランチOS14:30、カフェOS16:30)
 休 火曜
 料 イートインセット700円
 (パン2種、サラダ、ドリンク)



美浜町
 アメリカ村食堂
 すてぶすとん
 SUBEBUSTON

多くのカナダ移住者を送り出した美浜町の通称「アメリカ村」。移住した人は帰国後、異国での暮らしや文化を同地区に根付かせた。カナダのパブをイメージした食堂ではサーモンと釜揚げしらすを乗せた「すてぶす丼」が味わえる。



所 日高郡美浜町三尾841
 ☎0738-20-1420
 ☑11:00~15:00(OS14:00)
 休 火曜 ※祝日の場合は営業
 料 すてぶす丼1,200円
 ※土日限定メニュー



近くにはカナダミュージアム(旧野田邸・登録有形文化財)やゲストハウス遊心庵(旧田中家住宅・登録有形文化財)がある。



山の傾斜地につくられたみかん畑。石垣積みの階段畑は水はけがよく、陽光をたっぷり浴びるため、高品質のみかんができる。

日本農業遺産にも認定された 紀州みかんの里を巡る旅 〔有田市・海南市〕

トップブランドのひとつ、「有田みかん」の産地で知られる有田市。歳で熟成させる「蔵出しみかん」の技術を生み出した海南市下津町。両地とも、何世代にもわたって受け継がれた農業システムが日本農業遺産に認定されたみかんの里だ。有田地方のみかん栽培の歴史は古く、さかのぼること約450年前。諸説あるものの、現在の有田市糸我で伊藤孫右衛門が熊本県から持ち帰った苗木を栽培したのが始まりと伝わる。紀州のみかんが広く好まれるきっかけとなったのが江戸への出荷。どの産地よりも味も色も形も群を抜いていると評判を呼び、享保年間（1716〜1736）には50万籠を江戸に送った記録が残る。

海南市下津町には日本で最初にみかんの祖が植えられたとの伝説が残る神社も。みかんのルーツを巡る旅の道中、ご当地だから味わえるもぎたての果実にガブリ。先人たちが歳月をかけて育んだ美味をご堪能あれ。



◆モデルコース（移動時間）

- 阪和自動車道下津IC
↓（車で5分）
- 橘本神社
↓（車で15分）
- 紀伊国屋文左衛門船出の碑
↓（車で15分）
- 有田市みかん資料館
↓（車で5分）
- 浜のうたせ
↓（車で10分）
- 有田みかん海道展望台
↓（車で20分）
- 伊藤農園直営ショップ みかんの木
↓（車で15分）
- 阪和自動車道有田IC



有田市みかん資料館

有田市のみかん栽培や産業の歴史を学ぶ資料館。享保19年（1734）の古文書『紀州蜜柑伝来記』（複製）などの貴重な資料が収集・展示され、江戸時代のみかん出荷の様子を表現したジオラマや弁財船（べさいせん）の模型も見もの。

〒有田市眞島27 有田文化福祉センター内 ☎0737-82-3221
☎9:30～17:00（最終入館16:30）
休水曜 入館無料

大人の知的好奇心を満たす
100のストーリー

わかやま歴史物語 [検索](#)



有田みかん海道展望台

全長約5.6キロにわたる道ではみかん畑や紀伊水道など変化に富んだ景色を楽しめ、ドライブやサイクリングに最適。中間地点にある展望台からは湯浅湾の美景が広がり、晴れた日には淡路島や四国まで見渡せることも。

〒有田市宮崎町 ☎0737-22-3624 (有田市産業振興課)



橋本神社

みかんの原種「橘(たちばな)」を日本に伝えた田道間守(たちまもり)をまつり、旧社地である「六本樹の丘」は日本で初めて橘を植えた地として今も残る。10月第2日曜には例大祭としてみかん祭りが執り行われる。

〒海南市下津町橋本779
☎073-494-0083
☒9:00~17:00



田道間守



紀伊国屋文左衛門船出の碑

元禄時代の紀州の商人、紀伊国屋文左衛門。荒れ狂う海の中、決死の覚悟で江戸へみかんを運んで巨利を得た伝説の豪商をしのんで、石碑が建てられた。碑の向こうには、国際拠点港湾の下津の海が見える。

〒海南市下津町大崎
☎073-483-8461 (海南市産業振興課)



キッチンなかの

みかんの名所巡りでランチに立ち寄りたお店。ボリュームある唐揚げに、自家製タルタルソースをつけて召し上がれ。デザート付き。プラス220円でドリンクも追加できる。地元産の魚を使った海鮮丼やお刺身定食も人気。

〒有田市辻堂374 ☎0737-83-3573
☒11:00~14:30(OS13:45) 日曜
ランチ南蛮定食1,100円



写真提供 / 有田市教育委員会

紀州蜜柑発祥の地

約450年前に現在の有田市糸我に原木が植えられ、やがてみかん栽培が広がったと伝わる。発祥の地では今も原木の5代目が毎年実をつける。



Testi Mone ARIDA

みかん海道の上頂に佇む絶景イタリアン。近くの漁港で揚がった旬魚や、地産の野菜や柑橘にこだわった料理をいただける。ランチのAコースは前菜3種、選べるパスタ、自家製フォカッチャ、デザート、ドリンクの内容。

〒有田市宮崎町1052-13 ☎0737-83-2310
☒11:00~15:00(OS14:00)、17:30~22:00
(OS20:00) 休火・水曜
ランチコース Aコース2,000円



伊藤農園直営ショップ みかんの木

1897年に創業した老舗みかん農園の直営店で、築80年のみかん蔵を古民家ショップにリノベーション。無添加ジュースなど果実そのままの味と香りを楽しめる自社製品や、季節の柑橘類などを販売している。

〒有田市宮原町滝川原498-2 ☎0737-88-7053
☒9:00~17:00 休無休
100%ピュアジュース(750ml)みかんしぼり1,048円



浜のうたせ

漁協直営の市場だけあり、多彩な魚種がズラリ。秋はイボダイ、ハモ、アシアカエビなどが旬。レストランでは海鮮丼や寿司セットなどの漁港グルメを味わえる(10:00~13:30)。地場野菜や特産品のお土産選びも楽しい。

〒有田市宮崎町2489 ☎0737-23-7138
☒9:00~18:00 休水曜 ※祝日の場合は営業



紅葉に彩られる聖地へ

世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス

二大聖地を路線バスで巡る「世界遺産『高野山・熊野』聖地巡礼バス」が、9月1日（木）から11月30日（水）まで運行します。高野山と熊野本宮大社間を1日1往復し、片道大人5,000円、子ども2,500円。熊野速玉大社や熊野那智大社まで足を延ばすなら、最大3日間乗り放題の「悠遊フリー乗車券」がお得。乗車区間などの詳細はWEBサイトを参照。



【世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス】
 ①南海りんかんバス(高野山駅前～護摩壇山区间) ☎0736(56)2250
 ②龍神自動車(護摩壇山～本宮大社前区间) ☎0739(22)2100
<https://www.wakayama-kanko.or.jp/features/seichijunrei-bus/>
 【悠遊フリー乗車券】
 ③熊野御坊南海バス ☎0735(22)5101
<https://kumanogobobus.nankai-nanki.jp/ticket/>

京都～高野山を約2時間40分で移動 直通高速バス「京都高野山線」

京都と高野山を結ぶ高速バス「京都～高野山線」が11月27日（日）まで毎日運行。電車で乗り継ぐことなく、約2時間40分の快適なバス旅を楽しめます。1日2往復運行し、運賃は片道大人2,300円～（子どもは半額）で往復割引もあり。乗車券の予約は下記センターに電話で、またネット予約も可能。時刻表や停留所などの詳細はWEBサイトで確認を。



④京阪高速バス予約センター ☎075(661)8200 ※9:00～19:00
<https://www.keihanbus.jp/highway/line/kyoto-koyasan/>

和歌の浦の息をのむ絶景を撮影して投稿 撮っておきわかのうら2022フォトコンテスト

万葉の時代から美しい情景で人々を魅了し、和歌に詠い継がれた日本遺産の地、「絶景の宝庫 和歌の浦」。その魅力を広く発信することを目的に、「撮っておきわかのうら2022フォトコンテスト」を開催します。和歌浦湾やその周辺で撮影した写真をインスタグラムに投稿、入賞者には5,000円相当の地域特産品が贈られます。応募期間は9月～12月まで（予定）。詳細は、下記WEBサイトで確認を。



昨年度の入賞作品

⑤和歌の浦日本遺産活用推進協議会 ☎073(441)2777
<https://wakanoura-nihonisan.jp/>

わかやま・まるごとスタンプラリー

秋冬の特別キャンペーンを実施

「わかやま・まるごとスタンプラリー」の秋冬特別キャンペーンが実施中。阪急交通社梅田支店ほか大阪、兵庫にある2店舗やJR大阪駅、南海なんば駅、徳島港など、期間限定で和歌山県外にもスタンプポイントが設置されます。県外スポットと「歴史物語」「水の国、わかやま。」「ジオパーク」「和みわかやまマップ」のスポットで獲得したスタンプ数に応じて、宿泊券などが抽選で当たります。2023年2月まで（スポットによりスタンプを獲得できる期間が異なります）。



⑥和歌山県観光振興課 ☎073(441)2775
<https://wakayama-stampally.jp/>

日本遺産「鯨とともに生きる」 周遊スタンプラリー

熊野灘の捕鯨文化に関する地域を巡るスタンプラリーが開催中です。特設サイトにアクセスし、新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町に点在する構成文化財や関連施設など24スポットを周遊し、スタンプを獲得。スタンプ数に応じて、ペア宿泊券や地域特産品、くじらグッズが抽選で当たります。2023年1月29日（日）まで。



⑦熊野灘捕鯨文化継承協議会事務局 ☎073(441)2424

ペア宿泊券など毎月166人に当たる！ 「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーン

県内の宿泊施設に泊まると豪華賞品が当たる「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンが実施中です。宿泊施設に泊まって応募すると、ペア宿泊券（5万円分）をはじめ、観光施設ペアチケット、食事券、プレミアム和歌山認定商品などが抽選で毎月166人に贈られます。キャンペーン期間は2022年9月1日（木）から2023年2月28日（火）まで。応募要項など詳細は下記WEBサイトで確認を。



「紀の松島」(那智勝浦町)を巡る乗船券も賞品の一つ

⑧和歌山県観光連盟 ☎073(422)4631
<https://www.wakayama-kanko.or.jp/information/2022-07-27/>

[和歌山県イラストマップ]



RETRIP 和歌山県の旅情報を「RETRIP」で紹介
「旅は和歌山」でレトロモダン探しの旅(予定)
2022年9月1日公開



各市町村の観光に関する問い合わせ

和歌山市観光協会	☎073-433-8118	湯浅町観光協会	☎0737-22-3133	田辺市観光ツーリズムビューロー	☎0739-26-9025	すさみ町観光協会	☎0739-34-3200
海南市観光協会	☎073-484-3233	広川町観光協会	☎0737-63-1122	田辺観光協会	☎0739-26-9929	新宮市観光協会	☎0735-22-2840
紀美野町観光協会	☎073-489-5901	有田川町観光協会	☎0737-52-2111	龍神観光協会	☎0739-78-2222	南紀串本観光協会	☎0735-62-3171
紀の川市観光協会	☎0736-77-2511	御坊市観光協会	☎0738-23-5531	大塔観光協会	☎0739-48-0301	南紀串本観光協会(古座)	☎0735-72-0645
岩出市観光協会	☎0736-62-7101	美浜町産業建設課	☎0738-22-4123	中辺路町観光協会	☎0739-64-1470	古座川町観光協会	☎0735-70-1275
橋本市観光協会	☎0736-33-1111	日高町観光協会	☎0738-63-3806	熊野本宮観光協会	☎0735-42-0735	那智勝浦町観光案内所	☎0735-52-5311
かつらぎ町観光協会	☎0736-22-0300	由良町観光協会	☎0738-65-2522	南紀白浜観光協会	☎0739-43-3201	太地町観光協会	☎0735-59-2335
九度山町観光協会	☎0736-54-2019	日高川町観光協会	☎0738-22-2041	紀伊半島観光情報ステーション	☎0739-42-2900	北山村観光協会	☎0735-49-2324
高野町観光協会	☎0736-56-2468	印南町観光協会	☎0738-42-1737	日置川観光協会	☎0739-52-2302		
有田市観光協会	☎0737-83-1111	みなべ観光協会	☎0739-74-8787	上富田町観光協会	☎0739-47-0550		

旅館・民宿組合事務所

和歌山旅館ホテル生活衛生同業組合	☎073-431-1366	高野山宿坊協会	☎0736-56-2616	白浜温泉旅館協同組合	☎0739-42-2215	椿温泉観光協会	☎0739-46-0321
和歌の浦観光協会	☎073-444-4349	日高町旅館民宿組合	☎0738-63-3535	白浜温泉公認民宿組合	☎0739-43-3534	すさみ町民宿組合	☎0739-55-2293
加太観光協会	☎073-459-0003	田辺市旅館業組合	☎0739-22-5544	白浜宿泊ネットワークサービス	☎0739-43-2706	南紀勝浦温泉旅館組合	☎0735-52-0048
紀三井寺観光協会	☎073-444-1004	龍神温泉観光宿泊案内所	☎0739-79-0339	南紀白浜しらすな会	☎0120-53-1662	那智勝浦町民宿組合	☎0735-52-2318

Fantastic! **フォトジェニックなわかやま**

視界いっぱいに広がる黄金色 世界遺産を彩る秋景色

🔍 検索 **丹生酒殿神社** [かつらぎ町]

Photogenic WAKAYAMA [Niusakadonojinja]



世界遺産・高野参詣道三谷坂の一部である丹生酒殿神社には、樹齢300年とも800年とも伝わる大銀杏(おおいちょう)がある。秋になりその葉が黄金色に色づく様子は圧巻。大銀杏の近くに「境内を黄に敷きつめて大いちょう」と刻まれた句碑もあるように、晩秋には落ち葉が作り出す黄金の絨毯が境内を埋めつくす。

- ①例年11月中旬から12月にかけて、日没～22時はライトアップされ、幻想的な風景を見ることができる。
- ②丹生都比売大神(にうつひめおおかみ)を主祭神に持つ同神社。神社名は紀の川の水で人々が酒を醸造して神に供えられた事が由来とされている。

DATA

丹生酒殿神社
〒伊都郡かつらぎ町三谷631
☎0736-22-0300 (かつらぎ町観光協会)



「#グッドトリップ和歌山」投稿キャンペーン開催中!!

Instagramに写真投稿して賞品をゲットしよう!詳しくはホームページをチェック!
🌐 <https://www.wakayama-kanko.or.jp/goodtrip/>

ちょっと寄り道 Spot!



伊咲亭(いさきてい)

フランスの家庭料理が味わえるビストロ。ドッグランもあり、テラス席で愛犬と一緒に食事が楽しめる。

〒伊都郡かつらぎ町東法田635
☎0736-22-1595
☑10:00～18:00(OS17:30)
ランチタイム11:30～13:30(OS)
☑日・月曜(その他臨時の休みあり)
☑ピーフステーキブラックペッパーソース1,540円(プラス495円でスープ・キッシュ・コーヒー付きに)、バリプレスト308円



かつらぎ温泉 八風の湯

源泉掛け流しのお湯が自慢の施設。温泉は、古代の海水を含んだ塩分濃度の高い泉質が特徴で、湯冷めしにくい。料金にはタオル、バスタオル、入館着が含まれている。

〒伊都郡かつらぎ町佐野 702
☎0736-23-1126
☑10:00～22:00(最終受付21:00)
☑年中無休(メンテナンス休業あり)

☑日帰り入浴料 / 月～金曜:大人1,300円、小人(4歳～小学生)600円、土日曜・祝日:大人1,500円、小人700円

和歌山県の観光についてのお問い合わせ

和歌山県観光連盟・和歌山県観光振興課・和歌山県観光交流課

TEL.073(422)4631・073(441)2775 / FAX.073(432)8313 TEL.073(441)2785 / FAX.073(427)1523

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県の観光ホームページ <https://www.wakayama-kanko.or.jp>

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp>

●わかやま紀州館

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館地下1階
TEL.03(3216)8000 / FAX.03(3216)8002

●和歌山県名古屋観光センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目16-36 久屋中日ビル4階
TEL.052(263)7273 / FAX.052(265)0327



和歌山観光PRシンボルキャラクター わかぼん



ごみのポイ捨てはやめましょう

- ・バーベキューは指定の場所で行いましょう
- ・ごみは家に持ち帰り適切に処分しましょう
- ・ポイ捨てをなくし地球環境を守りましょう
- ※ポイ捨ては法律違反で罰せられる行為です

この情報誌は環境に配慮した紙とベジタブルインキを使用しています。